小5理科 もののとけ方 No.4

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

なまえ

出席番号　　必要な人は書く

問1 水に溶けている物質を取り出したときに見られる、物質の種類によって決まっている規則正しい形を何といいますか。

○ 結晶の形　○ 結晶の重さ　○ 結晶の温度　○ 結晶の体積

問2 水に溶けていない粒と水を分けるために使う、目に見えない小さな穴がたくさん開いている紙の名前は何ですか。

○ リトマス紙　○ 薬包紙　○ ろ紙　○ セロハン紙

問3 温度を上げてたくさん溶かしたミョウバンの水溶液から、ミョウバンのつぶを取り出すには、水溶液をどのようにすればよいですか。

○ 水溶液を温めて温度を上げる
○ 水溶液にさらに水を加える
○ 水溶液を冷やして温度を下げる
○ 水溶液を激しくふる

問4 ろ過をしたときに、ろ紙の上に残るものはどのようなものですか。

○ 蒸発して出てきた塩の結晶
○ 水に溶け残った大きな粒
○ 水に完全に溶けている透明な物質
○ ろ紙を通り抜けたきれいな水

問5 水に溶けている食塩のように、温度が変わっても溶ける量がほとんど変わらないものを、固体として取り出すにはどのような方法を使えばよいですか。

○ 水を蒸発させる　○ 水を冷やす　○ 水を温める　○ ろ紙でこす

問6 ホウ酸やミョウバンを水に溶かすとき、水の温度が高くなると、水に溶ける量はどのように変化しますか。

○ 急激に小さくなる　○ 少しずつ小さくなる　○ まったく変わらない　○ 急激に大きくなる

問7 水よう液の性質として、正しく説明しているものはどれですか。

○ 上の方と下の方で、液の濃さがちがっている。
○ しばらく置いておくと、とけたものが下に沈む。
○ ものが全体に広がり、すき通っている。
○ とけたものが一箇所に集まって、全体がにごっている。

問8 分銅をあつかうとき、手で直接さわらずにピンセットを使って持たなければならないのはなぜですか。

○ 手の熱が伝わって、分銅がとけてしまうのを防ぐため
○ 手のあぶら（皮脂）などがついて、重さが変わるのを防ぐため
○ 手の水分で、分銅が水にぬれて消えてしまうのを防ぐため
○ 手の力で、分銅の形が変わってしまうのを防ぐため

問9 水溶液を冷やすことで固体として取り出すことができるのは、どのような性質がある物質ですか。

○ 温度が下がると溶ける量が大きく減る性質
○ 温度が下がると溶ける量が大きく増える性質
○ 温度が上がると溶ける量が大きく減る性質
○ 温度が変わっても溶ける量がまったく変わらない性質

問10 右利きの人が上皿てんびんの右側の皿に分銅をのせていくとき、正しいのせ方はどれですか。

○ 重さを気にせず、手にとった順にのせる。
○ 軽い分銅から順にのせる。
○ 中くらいの重さの分銅から順にのせる。
○ 重い分銅から順にのせる。

問11 ろ過をして、溶けていない粒を取り除いたあとの液体のことを何といいますか。

○ ろ紙　○ ろ液　○ 上ずみ液　○ 水溶液

問12 水を蒸発させて取り出す方法は、どのような性質をもつものを取り出すのに適していますか。

○ 水の温度に関係なく、水にまったく溶けないもの
○ 水の温度が上がると、溶ける限度の量がとても大きくなるもの
○ 水の温度が下がると、溶ける限度の量がとても小さくなるもの
○ 水の温度が変化しても、溶ける限度の量があまり変わらないもの

問13 ものを水に入れてよくかき混ぜたとき、とけたものが液全体に均一に広がり、すき通る状態のことを何といいますか。

○ 水がふっとうする状態　○ 水にとける状態　○ 水がじょうはつする状態　○ 水がこおる状態

QRを 読んで 答え合わせ
答案を 撮って 自動採点
点数は マイページに ためよう